

魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

～滋賀県立高等学校再編実施計画～

(案)

平成 24 年 10 月

滋賀県教育委員会

目 次

| | | |
|-----|----------------------------------|----|
| I | 実施計画の考え方 | 1 |
| II | 再編の具体的な方策 | 1 |
| 1 | 新しいタイプの学校の設置 | 1 |
| 2 | 統合による新しい学校の設置 | 1 |
| 3 | 地域に根ざした学校づくり | 2 |
| 4 | 職業系専門学科の改編等 | 2 |
| 5 | 総合学科の充実 | 3 |
| 6 | 定時制課程の見直し | 3 |
| 7 | その他教育内容の充実等 | 3 |
| III | 各地域の再編の概要と再編の方向 | 5 |
| 1 | 大津地域（大津市） | 5 |
| 2 | 湖南地域（草津市、守山市、栗東市、野洲市） | 5 |
| 3 | 甲賀地域（甲賀市、湖南市） | 6 |
| 4 | 湖東地域（彦根市、近江八幡市、東近江市、蒲生郡、愛知郡、犬上郡） | 6 |
| 5 | 湖北地域（長浜市、米原市） | 7 |
| 6 | 湖西地域（高島市） | 8 |
| IV | 具体的な再編内容 | 9 |
| 1 | 新しいタイプの学校の設置 | 9 |
| 2 | 統合による新しい学校の設置 | 11 |
| 3 | 地域に根ざした学校づくり | 16 |
| 4 | 職業系専門学科の改編等 | 17 |
| 5 | 総合学科の充実 | 22 |
| 6 | 定時制課程の見直し | 23 |

I 実施計画の考え方

この「滋賀県立高等学校再編実施計画」は、「滋賀県立高等学校再編基本計画」で示した県立高等学校再編の基本的な考え方に基づき、平成 25 年度から概ね 5 年間の再編の具体的な内容を示すものです。

なお、今後の社会状況の変化や生徒数の推移、再編の進捗状況などを見極めながら、必要に応じて次期以降の実施計画を策定します。

II 再編の具体的な方策

魅力と活力ある高等学校づくりを進めるため、生徒の興味・関心や進路希望等に応じた教育を提供し、魅力ある教育を展開するとともに、多様な選択科目の開設をはじめ、部活動や学校行事などの集団活動の活性化、施設や設備の効果的・効率的な利用等の観点から学校活力の維持向上を図ります。

このため、地域や学校の状況等に応じ、次の具体的な方策を講じるとともに、これに伴う必要な施設・設備の整備を行います。

各再編の具体的な内容や再編の実施方法等については、「IV 具体的な再編内容」で示します。

1 新しいタイプの学校の設置

【総合単位制高等学校の設置（能登川高等学校の改編）】

生徒それぞれの学習ペースやスタイルなど、多様な学習ニーズに応える学びの場として、また、高等学校を中途退学した生徒や進路変更を希望する生徒に対する新たな学びの場として、柔軟な学びのシステムを特色とする全日制・定時制併置の総合単位制高等学校を能登川高等学校に設置します。

2 統合による新しい学校の設置

【彦根西高等学校と彦根翔陽高等学校の統合による新しい学校の設置】

彦根西高等学校で培ってきた普通科と家庭学科の教育資源と彦根翔陽高校の総合学科で展開してきた普通・商業の系列を融合させ、普通・商業・家庭の系列で編成する総合学科高校を設置します。

新校は、多様な学びの中から夢の実現を支援する学校、多様な生徒が集い、互いに切磋琢磨しながら夢を育み学ぶ学校を目指します。

新校の校地については、彦根翔陽高等学校の校地を活用することとし、校名については、両校の関係者等による検討委員会を設け、検討を行います。

【長浜高等学校と長浜北高等学校の統合による新しい学校の設置】

長浜高等学校と長浜北高等学校を統合し、湖北地域の既存の普通科単独校と並び立つ、大学等への進学指導に重点を置く地域の中核的な普通科単独校を設置します。

新校は、長浜市で展開されている英語教育の成果を高校教育につなげるとともに、高等学校における新しい英語教育の全県のモデル校とし、思考力・判断力・表現力および語学力といったグ

ローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指します。

新校の校地については、長浜高等学校の校地を活用することとし、校名については、両校の関係者等による検討委員会を設け、検討を行います。

3 地域に根ざした学校づくり

【信楽高等学校の学科改編等】

通学上の配慮が必要な地域において、多様な学びの機会を確保し、生徒の進路希望等に応じた教育を行うため、信楽高等学校を普通・セラミック・デザインの3系列を持つ総合学科へ改編します。

また、地場産業等の地域の教育資源を活用した教育活動の展開や近隣校との連携、県外からも生徒を受け入れることで、学校活力の維持向上等を目指します。

こうした改編を行った後、5年を目途に検証を行い、その評価を踏まえて必要な対応を検討します。

4 職業系専門学科の改編等

(1) 農業学科

【長浜農業高等学校、湖南農業高等学校、八日市南高等学校の小学科の改編】

農業学科の小学科を分かりやすい学科体系や名称に変更するとともに、地域の特色を生かしつつ、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開や経営の多角化（6次産業化）、大規模経営などの学習を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成します。

また、大学等の上級学校への進学も視野に入れた教育内容の充実に努めます。

(2) 工業学科

【瀬田工業高等学校、彦根工業高等学校、八幡工業高等学校の小学科の改編】

細分化された電気系と情報系の小学科を統合し、分かりやすい学科体系に整理するとともに、知識や技能の高度化に対応できる基礎的・基本的な学力の確実な習得を図り、多様な工業分野で活躍できる資質と能力を育成します。

化学系小学科と建設系小学科を設置する学校の見直し、施設・設備の効率的な活用や集中的な投資などにより、専門学科としての教育内容の充実に図ります。

また、大学等への上級学校への進学も視野に入れた教育内容の充実に努めます。

【瀬田工業高等学校と瀬田高等学校の統合】

同一敷地内に設置されている瀬田工業高校（全日制）と瀬田高校（定時制）を統合し、全日制・定時制を併置した工業学科として、両校が持つノウハウの蓄積や施設・設備を有効に活用し、専門学科としての教育内容の充実に図ります。併せて、定時制課程の機械科と電気科を生徒の志望の実態に応じ、機械・電気科とします。

(3) 福祉学科

【長浜高等学校福祉学科の廃止（長浜北星高等学校総合学科に福祉系列を設置）】

法改正により介護福祉士試験の受験資格として必要な高等学校における学習の時間数が増

加したこと等を踏まえ、介護福祉士の国家試験合格を目指すことを重視してきた福祉科教育のあり方を見直し、基礎的・基本的な学習に重点を置き、生徒の進路希望等に応じて上級学校に進学し、さらに福祉に関する学習を深めることができる形に改めます。

併せて、総合学科の柔軟な教育課程の中に福祉に関する専門教育を取り込み、生徒の多様なニーズに対応した学習の機会を確保するため、福祉学科を総合学科の系列に改編します。

5 総合学科の充実

【長浜北星高等学校総合学科に福祉系列を設置】

長浜北星高等学校に新たに福祉系列を設置し、普通・工業・商業・福祉の多様な系列で編成する総合学科高校として教育内容の充実を図ります。

新たに設置する福祉系列では、福祉に関する基礎的・基本的な学習を通して、将来、福祉や看護、医療分野などで地域に貢献できる資質と能力を育成します。

6 定時制課程の見直し

【長浜北星高等学校定時制課程の学科改編】

3年での卒業や転編入学を容易にするなど、生徒の多様なニーズに柔軟に対応できる教育課程が編成できるよう、長浜北星高等学校定時制課程を学年制の商業学科から単位制の総合学科へ改編します。

【彦根東高等学校定時制課程の廃止】

普通科の総合単位制高等学校を湖東地域に設置することに伴い、彦根東高等学校定時制課程を廃止します。

7 その他教育内容の充実等

(1) 理数教育の充実

理数教育先進校との学校間連携等を一層推進し、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材等の育成を目指します。

(2) 英語教育の充実

英語教育先進校における取組実績を活かすとともに、思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指す、新しい英語教育の取組を推進します。

(3) 大学等との連携強化

高等学校と大学等との連携を強化し、生徒がより高度な学習内容に触れることで進路選択に役立てるとともに、生徒の学問に対する興味・関心を喚起し、学習意欲を高めます。

(4) 地域資源を活かした教育活動の推進

滋賀県が有する豊かな自然、歴史、文化、産業、地域コミュニティなどの様々な地域資源を

活かした教育活動を推進するとともに、これらを特色として更なる学校の魅力づくりを進めます。

(5) ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進

特別支援学校との交流等を通して、ノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進します。

(6) 教職員研修等の充実

魅力ある教育課程の編成を図るため、カリキュラムマネジメント研修や授業力向上研修などの充実を図ります。また、大学や研究機関等への研修派遣を推進し、教員の資質向上を図ります。

Ⅲ 各地域の再編の概要と再編の方向

高等学校の通学区域については、生徒の多様なニーズに応え、生徒の個性や能力を伸ばし、自ら学ぶ意欲をはぐくむため、自分に合った高校を主体的に選べるよう、高校の選択幅を最大限に広げることをねらいとして、平成18年度から全県一区となりました。

一方、全県一区制度のもとであっても、全日制高等学校の普通科進学者の約8割が地域の高等学校に進学していること等を踏まえ、各地域における再編の方向を示します。

各再編の具体的な内容や再編の実施方法等については、「Ⅳ 具体的な再編内容」で示します。

1 大津地域（大津市）

大津地域においては、理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指します。

〔再編内容〕

- 同一敷地内に設置されている瀬田工業高等学校（全日制）と瀬田高等学校（定時制）を統合し、専門学科としての教育内容の充実と施設・設備の有効活用を図ります。また、全日制課程工業学科の小学科を改編し、専門学科としての教育内容の充実を図るとともに、化学工業科を有する工業高校として特色ある学校づくりを進めます。
- 思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指す新しい英語教育の取組を推進し、英語教育の向上を図ります。
- SSHにおける取組実績を活かすとともに、SSH指定校との連携等を通して、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材の育成を目指します。

※ SSH（スーパーサイエンスハイスクール）・・・将来の国際的な科学技術関係人材を育成するために、先進的な理数系教育を実施する学校として文部科学省が指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を行う取組。現在、膳所高等学校・彦根東高等学校・虎姫高等学校が指定されている。

2 湖南地域（草津市、守山市、栗東市、野洲市）

湖南地域においては、理数教育先進校との連携や新しい英語教育の取組の推進、都市近郊型農業を特色とする農業教育など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指します。

〔再編内容〕

- 湖南農業高等学校農業学科の小学科を改編し、都市近郊型農業を特色として、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開や経営の多角化（6次産業化）、大規模経営などの学習を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成します。
- 思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指す新しい英語教育の取組を推進し、英語教育の向上を図ります。

- SSH指定校との連携を強化し、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材の育成を目指します。

3 甲賀地域（甲賀市、湖南市）

甲賀地域においては、理数教育先進校との連携や新しい英語教育の取組の推進、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動の展開など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上と学校活力の維持向上を目指します。

〔再編内容〕

- 通学上の配慮が必要な地域において、多様な学びの機会を確保し、生徒の進路希望等に応じた教育を行うため、信楽高等学校を総合学科へ改編するとともに、生徒の志望状況等を踏まえた学級数とします。同時に地場産業等の地域の教育資源を活用した教育活動の展開や近隣校との連携、県外からも生徒を受け入れることで、学校活力の維持向上等を目指します。
- 思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指す新しい英語教育の取組を推進し、英語教育の向上を図ります。
- SSH指定校との連携を進め、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材の育成を目指します。

4 湖東地域（彦根市、近江八幡市、東近江市、蒲生郡、愛知郡、犬上郡）

湖東地域においては、新しいタイプの学校の設置、理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進、農業教育や工業教育の充実、学校統合による多様な学びの中から夢の実現を支援する新校の設置など、それぞれの再編方策に沿った再編と各学校の更なる魅力づくりを進めることで、地域全体の教育力の向上と学校活力の維持向上を図り、生徒が意欲を持って学習に取り組んでいける教育を推進します。

〔再編内容〕

- 柔軟な学びのシステムを特色とする全日制・定時制併置の総合単位制高等学校を能登川高等学校に設置します。これに伴い、彦根東高等学校の定時制を廃止します。
- 学校統合による再編を行うことにより、学校の教育力の向上と湖東地域全体の学校活力の維持向上を図ります。新校は、多様な学びの中から夢の実現を支援する学校、多様な生徒が集い、互いに切磋琢磨しながら夢を育み学ぶ学校、部活動や学校行事などが活発で、豊かな人間性を育むことのできる学校を目指します。
- 思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指す新しい英語教育の取組を推進し、英語教育の向上を図ります。
- SSHにおける取組実績を活かすとともに、SSH指定校や小中学校との連携等を通して、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材の育成を目指します。
- 八日市南高等学校農業学科の小学科を改編し、造園分野と住居内外の空間デザインが学べる花緑デザイン科を特色として、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開や経営の多角化（6次産業化）、大規模経営などの学習を通して、将来の本県農業の担い手としての資質

と能力を育成します。

- 彦根工業高等学校工業学科と八幡工業高等学校工業学科の小学科を改編するとともに、学校間での小学科の集約を行い、彦根工業高等学校は建設科、八幡工業高等学校は環境化学科を有する工業高校として特色ある学校づくりを進め、専門学科としての教育内容の充実を図ります。

5 湖北地域（長浜市、米原市）

湖北地域においては、理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進、園芸を特色とする農業教育の充実、学校統合による大学等への進学指導に重点を置く新校の設置、定時制課程の学科改編など、それぞれの再編方策に沿った再編と各学校の更なる魅力づくりを進めることで、地域全体の教育力の向上と学校活力の維持向上を図り、湖北の地で子どもたちが進路希望等に応じて学ぶことのできる環境をつくります。

〔再編内容〕

- 学校統合による再編を行うことにより、学校の教育力の向上と湖北地域全体の学校活力の維持向上を図ります。新校は、新しい英語教育の全県のモデル校とするとともに、大学等への進学指導に重点を置く地域の中核的な学校、部活動や学校行事などが活発で、豊かな人間性を育むことのできる学校を目指します。
また、中高一貫教育校については、新校の運営実績等を見定めた上で、新校設置後5年を目途に新校に設置します。
- SSHにおける取組実績を活かすとともに、SSH指定校との連携等を通して、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材の育成を目指します。
- 長浜農業高等学校農業学科の小学科を改編し、草花栽培やフラワーデザインなどの草花装飾技術、果樹や野菜生産について、広大な農場や施設設備を活用した園芸全般を学習する園芸科を特色として、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開、経営の多角化（6次産業化）、大規模経営などの学習を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成します。
- 介護福祉士の国家試験合格を目指すことを重視してきた福祉科教育のあり方を見直し、基礎的・基本的な学習に重点を置き、生徒の進路希望等に応じて上級学校へ進学し、さらに福祉に関する学習を深めることができる形に改めます。
併せて、総合学科の柔軟な教育課程の中に福祉に関する専門教育を取り込み、生徒の多様なニーズに対応した学習の機会を確保するため、福祉学科を総合学科の系列に改編します。
- 長浜北星高等学校に新たに福祉系列を設置し、普通・工業・商業・福祉の多様な系列で編成する総合学科高校として、学習内容の充実を図ります。
新たに設置する福祉系列では、福祉に関する基礎的・基本的な学習を通して、将来、福祉や看護、医療分野などで地域に貢献できる資質と能力を育成します。
- 長浜北星高等学校定時制課程について、3年での卒業や転編入学を容易にするなど、生徒の多様なニーズに柔軟に対応できる教育課程の編成ができるよう、学年制の商業学科から単位制の総合学科へ改編します。

6 湖西地域（高島市）

湖西地域においては、理数教育先進校との連携や新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを進めることで、地域全体の教育力の向上を目指します。

〔再編内容〕

- 思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指す新しい英語教育の取組を推進し、英語教育の向上を図ります。
- SSH指定校との連携を強化し、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材の育成を目指します。

IV 具体的な再編内容

これまで示した学校の統合、学科改編等について、具体的な内容や再編の実施方法等を示します。

1 新しいタイプの学校の設置

【総合単位制高等学校の設置（能登川高等学校の改編）】

(1) 再編の概要

| | |
|----------|--|
| 再編の内容 | 能登川高等学校の全日制課程普通科を学年制から単位制にするとともに、新たに定時制課程（単位制）普通科を設置し、全日制・定時制併置の総合単位制高等学校とする。 |
| 再編のねらい | 生徒の多様な学習のニーズに対応した柔軟な学びのシステムにより、生徒の主体的な科目選択による学習や、様々な学習歴を持つ生徒の「学びあい」を通して、互いの人間性を高め、自己実現に向けて挑んでいく意欲をはぐくむ教育の推進を図る。 |
| 設置場所 | 能登川高等学校校地 |
| 再編年度 | 平成 26 年度 |
| 想定する学校規模 | 1 学年 全日制課程 3 学級、定時制課程（午後・夜間） 2 学級 |
| 学科構成 | 普通科（単位制による全日制課程および定時制課程） |
| 教育活動の特色 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人ひとりのニーズや進路、学習ペースに合わせて、自分の時間割を作成する。 ○ 入学後に卒業までの学習計画を立て、各年度末には個別ガイダンスで時間割の見直し等を行う。 ○ 興味・関心や進路希望等に応じて、全日制と定時制の授業を相互に学ぶことも可能とする。（併修） ○ 少人数講座や基礎・発展など、生徒のニーズに応じた講座を提供する。 <p>【全日制課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原則として 3 年で卒業。 ○ 英語や数学などの科目は、基礎的な学習を中心とした講座と発展的な学習に取り組む講座を設定し、生徒の進路や目標に合わせた選択を可能とする。 ○ 通常の 1～6 時限に加え、希望の進路を実現するために、7・8 時限の受講も可能とする。 <p>【定時制：午後部※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 午後の時間帯を中心に、午前の授業も受講することで生活のリズムを作り、3 年での卒業を目指す。 <p>【定時制：夜間部※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昼間に働きながら夜間に学ぶスタイルで、1 日に 4 時限の学習を基本とし、3 年または 4 年間での卒業を目指す。 |

- 他の時間帯の授業を受講したり、働いている場所での実務を単位の一部とする「実務代替」などで単位を取得し、3年での卒業も可能とする。
- 授業展開のイメージ

| | 午前(8:50~12:40) | | | | 午後(13:10~17:00) | | | | 夜間(17:30~21:00) | | | |
|------|----------------|---|---|---|-----------------|---|---|---|-----------------|----|----|----|
| 時限 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 授業展開 | 全日制 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 併修 | | | | | | | |
| | | | | | 併修 | | | | 併修 | | | |
| | | | | | 定時制(午後部) | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 併修 | | | |
| | | | | | | | | | 定時制(夜間部) | | | |

※ 「午後部」「夜間部」の名称については仮称。

- 体育施設等を使用する時間帯を工夫することにより、全日制・定時制の部活動の活動時間を確保する。

以上の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。

(2) 改編に向けて

- 必要な教室の増設に加え、生徒が自主的に学習し、きめ細かな指導が受けられる施設や、定時制の給食室、グラウンドの夜間照明などを整備します。
- 改編前年度に学校説明会、入学者選抜を実施します。

(3) 改編の実施方法

- 平成26年度入学者選抜より、改編後の課程・学科による募集を開始します。

(4) その他

- 平成25年度以前に能登川高等学校に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。

2 統合による新しい学校の設置

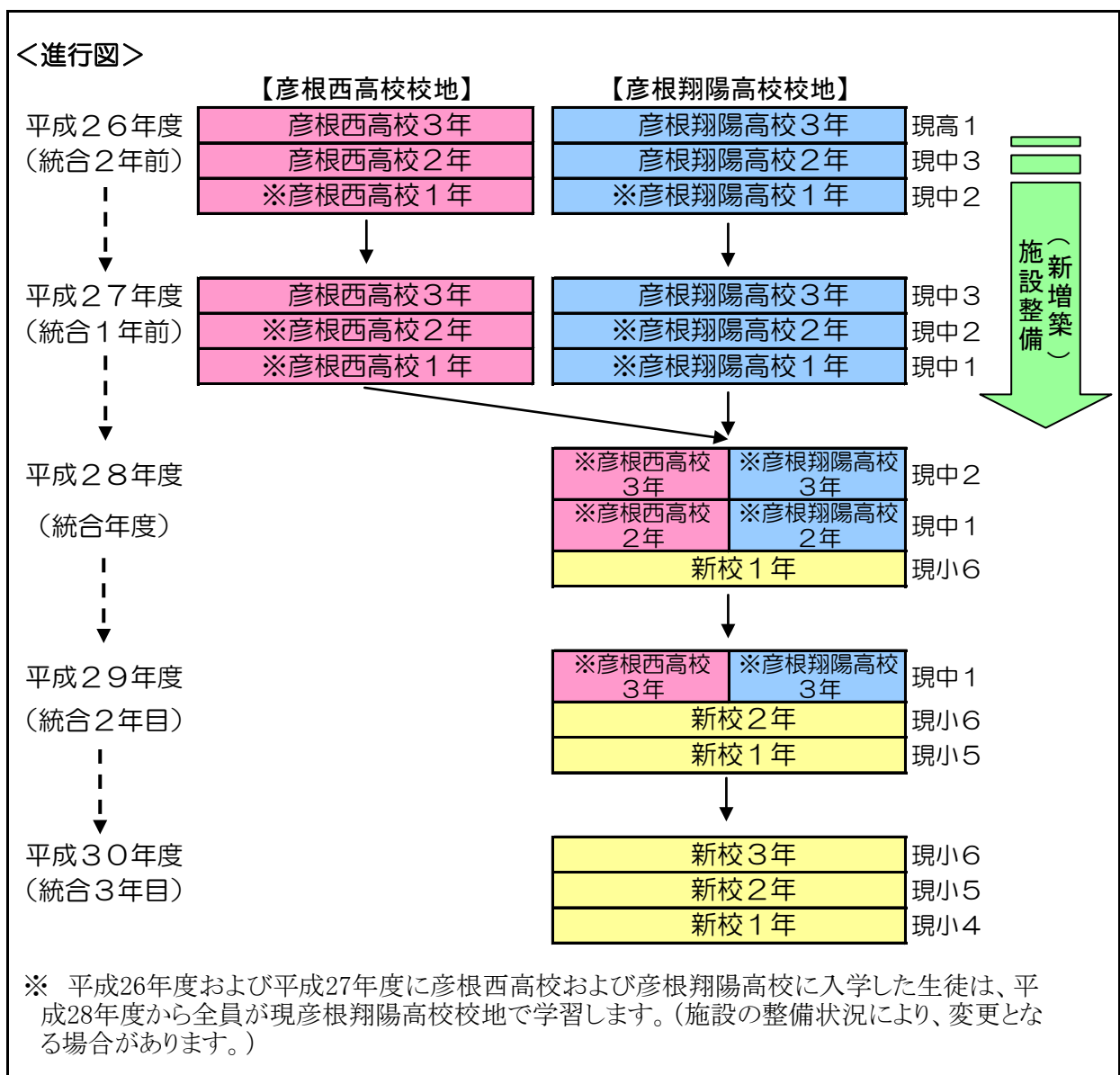
【彦根西高等学校と彦根翔陽高等学校の統合による新しい学校の設置】

(1) 再編の概要

| | |
|----------|--|
| 再編の内容 | 彦根西高等学校（普通科・家庭学科）と彦根翔陽高等学校（総合学科）を統合し、普通・商業・家庭の系列で編成する総合学科高校を設置する。 |
| 再編のねらい | 彦根翔陽高校の総合学科で展開してきた普通・商業の系列と彦根西高等学校で培ってきた普通科と家庭学科の教育資源を融合させ、普通・商業・家庭の系列で編成する総合学科高校を設置し、自己実現に向けて主体的な学習を促す多様な学びの充実を図るとともに、多様な生徒集団のもと、人間関係形成能力や社会性の育成を目指す教育を推進する。 |
| 設置場所 | 彦根翔陽高等学校校地 |
| 再編年度 | 平成 28 年度 |
| 想定する学校規模 | 1 学年 9 学級 |
| 学科構成 | 総合学科 普通・商業・家庭の系列を設置 |
| 教育活動の特色 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 新校のコンセプト <ul style="list-style-type: none"> ・多様な学びのメニューの中から夢の実現を支援する学校 ・多様な生徒が集い、互いに切磋琢磨しながら夢を育み学ぶ学校 ○ 生徒の一人ひとりの個性を伸ばす系列と選択科目を設定し、主体的な学習を支援する。 ○ 生徒一人ひとりの進路に合わせた学習内容を提供し、きめ細かな学習指導でサポートする。 ○ 高大連携で自分の興味・関心のある分野の講義を経験することにより、より専門性の高い学びへの動機付けを図る。 ○ 設置系列 <ul style="list-style-type: none"> ・大学進学等にも対応した普通系列 ・ビジネスに関する専門知識の習得と資格取得を目指す商業系列 ・家庭科に関する専門知識や技能を身につけられる家庭系列 <p>以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに検討を進める。</p> |

(2) 統合の実施方法

- 平成 26 年度および平成 27 年度の入学者選抜において、彦根西高等学校と彦根翔陽高等学校に入学する生徒は、平成 28 年度から現彦根翔陽高等学校校地で全員が学習することを前提に募集します。（施設の整備状況により、変更となる場合があります。）
- 平成 28 年度入学者選抜より、彦根西高等学校と彦根翔陽高等学校の募集を停止し、新校の募集を開始します。
- 彦根西高等学校および彦根翔陽高等学校は、平成 27 年度入学生が卒業する平成 30 年 3 月まで存続します。



(3) 新校の開校に向けて

- この計画の策定後は、両校の関係者等を構成員とする(仮称)校名検討委員会を設置し、新校名を検討します。
- 新校予定地に両校の校長等からなる(仮称)新校設立準備委員会を設置し、教育課程の編成や校歌、校則などの検討を行います。
- 教室の増設や家庭系列に必要な設備などを新たに整備します。

(4) その他

- 平成27年度以前に彦根西高等学校および彦根翔陽高等学校に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。
- 平成26年度の入学者選抜にかかる学校説明会までに、新校に設置する部活動を明らかにします。

【長浜高等学校と長浜北高等学校の統合による新しい学校の設置】

(1) 再編の概要

| | |
|----------|--|
| 再編の内容 | 長浜高等学校（普通科・福祉学科）と長浜北高等学校（普通科）を統合し、普通科の単独新校を設置する。（福祉学科は廃止し、長浜北星高等学校総合学科に福祉系列を設置する。） |
| 再編のねらい | <p>湖北地域の既存の普通科単独校と並び立つ中核的な普通科単独校を設置する。</p> <p>長浜市で展開されている英語教育の成果を高校教育につなげ、グローバル社会に生きる国際人を育成するための英語教育を展開する。</p> |
| 設置場所 | <p>長浜高等学校校地 （長浜高等養護学校は、長浜北星高等学校校地に新築移転）</p> <p>＜学校の配置＞</p> |
| 再編年度 | 平成 28 年度 |
| 想定する学校規模 | 1 学年 8 学級 |
| 学科構成 | 普通科 |
| 教育活動の特色 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 新校のコンセプト <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等への進学指導に重点を置く地域の中核的な普通科単独校 ○ 基礎基本を徹底し、考える授業を展開する。 ○ 高等学校における新しい英語教育の全県のモデル校とし、英語教育を重視し、英語によるプレゼンテーション、コミュニケーション、ディスカッションなどによる言語能力を養成する。 ○ 湖北の小中学校における英語教育を引き継ぎ、その取組を活かした英語教育を展開する。 ○ 文武両道を重視する。 ○ 週 2 回の 7 時限授業を実施し、大学進学に必要な学力養成のための授業時間を確保する。 ○ 高大連携を通じて、大学の高度な教育・研究に触れ、発展的な学習の一端を経験することにより、学習への意欲、関心を喚起する。 |

| | |
|--|---|
| | <p>○ 国公立大学受験を目指したカリキュラムを設定する。</p> <p>以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p> |
|--|---|

(2) 統合の実施方法

- 平成 26 年度および平成 27 年度の入学者選抜において、長浜高等学校と長浜北高等学校に入学する生徒は、平成 28 年度に現長浜北高等学校校地で全員が学習することを前提に募集します。
- 平成 28 年度入学者選抜より、長浜高等学校と長浜北高等学校の募集を停止するとともに、新校の募集を開始します。
- 平成 28 年度および平成 29 年度の入学者選抜において新校に入学する生徒は、平成 30 年度に現長浜高等学校校地で全員が学習する[※]ことを前提に募集します。
[※] 施設の整備状況により、変更となる場合があります。
- 長浜高等学校および長浜北高等学校は、平成 27 年度入学生が卒業する平成 30 年 3 月まで存続します。

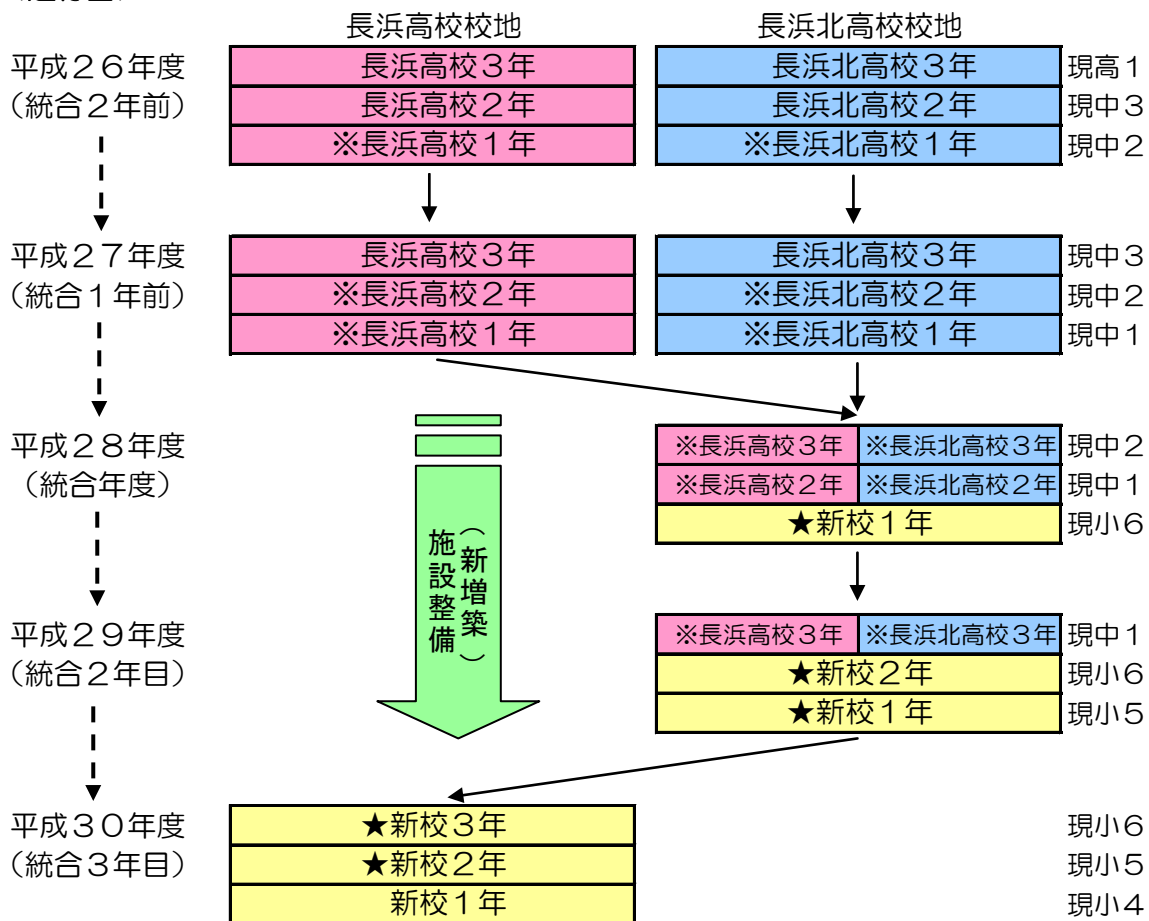
(3) 新校の開校に向けて

- この計画の策定後は、両校の関係者等を構成員とする（仮称）校名検討委員会を設置し、新校名を検討します。
- 新校予定地に両校の校長等からなる（仮称）新校設立準備委員会を設置し、教育課程の編成や校歌、校則などの検討を行います。
- 平成 28 年度から平成 29 年度にかけて、現長浜高等学校校地に校舎を新增築します。

(4) その他

- 平成 27 年度以前に長浜高等学校および長浜北高等学校に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。
- 平成 26 年度の入学者選抜にかかる学校説明会までに、新校に設置する部活動を明らかにします。
- 長浜高等学校と長浜北高等学校を合わせると、1 学年 10 学級（平成 24 年度第 1 学年）のところ、新校は 1 学年 8 学級を想定していますが、例えば虎姫高等学校等、同じ湖北地域の学校の学級増を行うなど、地域ごとの中学校卒業予定者数や進学志望の動向などを踏まえ、地域ごとの定員を確保していきます。

<進行図>



※ 平成26年度および平成27年度に長浜高校および長浜北高校に入学した生徒は、平成28年度から全員が現長浜北高校校地で学習します。

★ 平成28年度および平成29年度に新校に入学した生徒は、平成30年度から現長浜高校校地で学習します。(施設の整備状況により、変更となる場合があります。)

3 地域に根ざした学校づくり

【信楽高等学校を総合学科に改編】

(1) 再編の概要

| | |
|----------|--|
| 再編の内容 | <p>信楽高等学校（普通科、セラミック科、デザイン科）を普通・セラミック・デザインの3系列を持つ総合学科に改編する。</p> <p>また、セラミックやデザインの学習を特色として、県外から入学生を募集する仕組みを導入する。</p> |
| 再編のねらい | <p>選択科目の設定の工夫により多様な学びを提供し、生徒の進路希望等に応じた教育を行う。</p> <p>地場産業関係者、地元陶芸家、大学、県機関、地域の有識者等の協力・連携によって、地場産業である信楽焼を中心とした地域の教育資源を活用した学習等を取り入れた魅力ある学習活動を展開し、学校活力の向上を図る。</p> |
| 対象高等学校 | 信楽高等学校 |
| 再編年度 | 平成26年度 |
| 想定する学校規模 | 1学年 2学級 |
| 学科構成 | 総合学科 普通・セラミック・デザインの3系列を設置 |
| 教育活動の特色 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地場産業関係者、地元陶芸家、大学、県機関、地域の有識者等の協力・連携によって、様々な角度から甲賀や信楽の自然、歴史、文化、伝統産業等について幅広く学習する仮称「ふるさと学」に全校生徒が取り組み、豊かな人間性を育み、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、将来は地域社会に貢献できる資質と能力を育成する。 ○ 総合学科の必修科目「産業社会と人間」において、産業社会における自己のあり方や生き方について考え、学習した後、自分の興味・関心や進路希望に応じた系列を選択し学習する。 ○ 学校行事や部活動等において、近隣校と連携した取組を行う。 <p>以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p> |

(2) 改編の実施方法

- 平成26年度入学者選抜より、普通科、セラミック科、デザイン科の募集を停止し、総合学科の募集を開始します。

(3) その他

- 平成25年度以前に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。
- こうした改編を行った後、5年を目途に検証を行い、その評価を踏まえて必要な対応を検討します。

4 職業系専門学科の改編等

【農業学科の小学科改編】

(1) 再編の概要

| 再編の内容 | 農業学科の小学科の改編を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|---|-----------------------|--|-------|------|------------------------------------|---|-------------------|------|----------------------------------|---|-------------------|------|---------------------------|--|-----------------------|
| 再編のねらい | 農業学科の小学科を中学生から見て分かりやすい学科体系や名称に変更するとともに、地域の特色を生かしつつ、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開、経営の多角化（6次産業化）、大規模経営などの学習内容の充実を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対象高等学校 | 長浜農業高等学校、湖南農業高等学校、八日市南高等学校 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再編年度 | 平成26年度 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 想定する学校規模 | 長浜農業高等学校 1学年 3学級 湖南農業高等学校 1学年 3学級 八日市南高等学校 1学年 3学級 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学科構成 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%; text-align: center;">【改編前】</th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 25%; text-align: center;">【改編後】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長浜農業</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 生物活用科 ガーデン科 食品科学科 環境デザイン科 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 農業科 食品科 園芸科 </td> </tr> <tr> <td>湖南農業</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 農業技術科 園芸工学科 食品化学科 環境緑地科 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 農業科 食品科 花緑科 </td> </tr> <tr> <td>八日市南</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 農業技術科 食品流通科 緑地デザイン科 </td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 農業科 食品科 花緑デザイン科 </td> </tr> </tbody> </table> | | 【改編前】 | | 【改編後】 | 長浜農業 | 生物活用科 ガーデン科 食品科学科 環境デザイン科 | → | 農業科 食品科 園芸科 | 湖南農業 | 農業技術科 園芸工学科 食品化学科 環境緑地科 | → | 農業科 食品科 花緑科 | 八日市南 | 農業技術科 食品流通科 緑地デザイン科 | | 農業科 食品科 花緑デザイン科 |
| | 【改編前】 | | 【改編後】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 長浜農業 | 生物活用科 ガーデン科 食品科学科 環境デザイン科 | → | 農業科 食品科 園芸科 | | | | | | | | | | | | | | |
| 湖南農業 | 農業技術科 園芸工学科 食品化学科 環境緑地科 | → | 農業科 食品科 花緑科 | | | | | | | | | | | | | | |
| 八日市南 | 農業技術科 食品流通科 緑地デザイン科 | | 農業科 食品科 花緑デザイン科 | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育活動の特色 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携し特産物の商品開発や農産物の加工販売など6次産業化に向けた取組を行なう。 ○ 長浜農業高等学校は、草花栽培やフラワーデザインなどの草花装飾技術、果樹や野菜生産について、広大な農場や施設設備を活用した園芸全般を学べる園芸科を設置するなど、教育内容の充実を図る。 ○ 湖南農業高等学校は、都市近郊型農業が行なわれている県南部の平野部に立地している条件を活かし、野菜や草花の生産・販売を中心とした都市近郊型農業を学べる農業高校として、教育内容の充実を図る。 ○ 八日市南高等学校は、地域の緑地帯設計などの取組実績のある造園分野に加え、新たに住居内外の空間デザインが学べる花緑デザイン科を設置するなど教育内容の充実を図る。 <p style="text-align: center;">以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |

(2) 改編の実施方法

- 平成 26 年度入学者選抜より、改編後の小学科により生徒を募集します。

【工業学科の小学科改編】

(1) 再編の概要

| 再編の内容 | 工業学科の小学科改編および学校間での小学科の集約を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|---|---------------------|---|-------|------|------------------------------|--|---------------------|------|-------------------------------------|--|-------------------|------|-------------------------------------|--|---------------------|
| 再編のねらい | <p>細分化された電気系と情報系の小学科を統合し、中学生から見て分かりやすい学科体系や名称に整理するとともに、知識や技能の高度化に対応できる基礎的・基本的な学力の確実な習得を図り、多様な工業分野で活躍できる資質と能力を育成する。</p> <p>また、特色ある学校づくりの推進や化学系小学科と建設系小学科を設置する学校の見直し等により、専門学科としての教育内容の充実を図る。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対象高等学校 | 瀬田工業高等学校、彦根工業高等学校、八幡工業高等学校 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 再編年度 | 平成26年度 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 想定する学校規模 | 瀬田工業高等学校 1学年 7学級 彦根工業高等学校 1学年 6学級 八幡工業高等学校 1学年 6学級 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学科構成 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 40%; text-align: center;">【改編前】</th> <th style="width: 20%; text-align: center;">→</th> <th style="width: 40%; text-align: center;">【改編後】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>瀬田工業</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 機械科 電気科 情報電子科 化学工業科 </td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 機械科 電気科 化学工業科 </td> </tr> <tr> <td>彦根工業</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 機械科 電気科 情報技術科 建設科 環境化学科 </td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 機械科 電気科 建設科 </td> </tr> <tr> <td>八幡工業</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 機械科 電気科 情報電子科 建築科 環境化学科 </td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 機械科 電気科 環境化学科 </td> </tr> </tbody> </table> | | 【改編前】 | → | 【改編後】 | 瀬田工業 | 機械科 電気科 情報電子科 化学工業科 | | 機械科 電気科 化学工業科 | 彦根工業 | 機械科 電気科 情報技術科 建設科 環境化学科 | | 機械科 電気科 建設科 | 八幡工業 | 機械科 電気科 情報電子科 建築科 環境化学科 | | 機械科 電気科 環境化学科 |
| | 【改編前】 | → | 【改編後】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 瀬田工業 | 機械科 電気科 情報電子科 化学工業科 | | 機械科 電気科 化学工業科 | | | | | | | | | | | | | | |
| 彦根工業 | 機械科 電気科 情報技術科 建設科 環境化学科 | | 機械科 電気科 建設科 | | | | | | | | | | | | | | |
| 八幡工業 | 機械科 電気科 情報電子科 建築科 環境化学科 | | 機械科 電気科 環境化学科 | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育活動の特色 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報系小学科と電気系小学科を統合した「電気科（仮称）」を設置し、電気や情報に関する基本的な知識と技能を身につける指導を行う。また、入学後に授業・実習を経験した後に、自分の興味・関心や進路希望等に応じた専門科目を選択することが可能な教育課程を編成する。 ○ 機械科、電気科をベースに、瀬田工業高等学校は化学工業科、彦根工業高等学校は建設科、八幡工業高等学校は環境化学科を有する工業高校として特色ある学校づくりを進める。 ○ 瀬田工業高等学校は電気自動車製作、彦根工業高等学校は「防災かまどベンチ」製作、八幡工業高等学校は「環境のための地球規模の学習及び観測プログラム（グローブ）推進事業」など、各校の特色ある取組を進めるとともに、その成果を積極的に地域に発信する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|--|--|
| | <p>○ 建設科および環境化学科を彦根工業高等学校と八幡工業高等学校間で集約し、既存の施設・設備の効果的な活用や集中投資を視野に入れ専門教育の充実を目指す。</p> <p>以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p> |
|--|--|

(2) 改編の実施方法

- 平成 26 年度入学者選抜より、改編後の小学科により生徒を募集します。

【瀬田工業高等学校と瀬田高等学校の統合】

(1) 再編の概要

| | |
|----------|--|
| 再編の内容 | 同一敷地内に設置されている瀬田工業高等学校（全日制課程）と瀬田高等学校（定時制課程）を統合する。 併せて、定時制課程の機械科および電気科を生徒の志望の実態に応じ、機械・電気科とする。 |
| 再編のねらい | 全日制・定時制を併置した工業学科として、両校が持つノウハウの蓄積や施設・設備を有効に活用し、専門学科としての教育内容の充実を図る。 |
| 設置場所 | — |
| 再編年度 | 平成 26 年度 |
| 想定する学校規模 | 1 学年 全日制課程 7 学級、定時制課程（夜間） 1 学級 |
| 学科構成 | 全日制課程 機械科、電気科、化学工業科 定時制課程 機械・電気科 |
| 教育活動の特色 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 瀬田工業高等学校と瀬田高等学校で培ってきた学習指導や進路指導等のノウハウを共有し、効果的な学習活動を展開する。 ○ 施設・設備を有効に活用し、専門学科としての教育内容の充実を図る。 ○ 定時制課程の機械・電気科では、機械と電気のどちらかの類型を選んで学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械類型では、機械全般に関する基礎的知識や技能を学び、専門的な授業や実習を通して、機械加工技術の習得を目指す。 ・ 電気類型では、電気全般に関する基礎的知識や技能を学び、専門的な授業や実習を通して、電気施工管理技術の習得を目指す。 <p>以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p> |

(2) 学校統合の実施方法

- 平成 26 年度入学者選抜より、瀬田高等学校（機械科、電気科）の募集を停止し、瀬田工業高等学校定時制課程（機械・電気科）の募集を開始します。
- 瀬田高等学校は、平成 25 年度入学生が卒業する平成 29 年 3 月末まで存続します。

(3) その他

- 平成 25 年度以前に瀬田工業高等学校および瀬田高等学校に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。

5 総合学科の充実

【長浜北星高等学校総合学科に福祉系列を設置】

【長浜高等学校福祉学科の廃止】

(1) 再編の概要

| | |
|----------|---|
| 再編の内容 | 長浜北星高等学校に新たに福祉系列を設置し、普通・工業・商業・福祉の系列で編成する総合学科とするとともに、長浜高等学校の福祉学科を廃止する。 |
| 再編のねらい | <p>介護福祉士の国家試験合格を目指すことを重視してきた福祉科教育のあり方を見直し、基礎的・基本的な学習に重点を置き、生徒の進路希望等に応じて上級学校へ進学し、さらに福祉に関する学習を深めることができる形に改める。</p> <p>併せて、総合学科の柔軟な教育課程の中に福祉に関する専門教育を取り込み、生徒の多様なニーズに対応した学習の機会を確保するため、福祉学科を総合学科の系列に改編する。</p> <p>長浜北星高等学校は、普通・工業・商業・福祉の多様な学びの系列で編成する総合学科高校として、教育内容の充実を図る。</p> |
| 対象高等学校 | <p>長浜北星高等学校（工業・商業・福祉実習棟を新築）</p> <p>※ 長浜高等養護学校を併設（駅からの利便性が向上、校舎を新築するなど教育環境を改善）</p> |
| 再編年度 | 平成 26 年度 |
| 想定する学校規模 | 1 学年 6 学級 |
| 学科構成 | 総合学科 普通・工業・商業・福祉の系列を設置 |
| 教育活動の特色 | <p>○ 普通・工業・商業・福祉で編成する多様な系列から、自分の興味・関心や進路希望に応じた系列を選択し学習する。</p> <p>○ 新たに設置する福祉系列では、福祉に関する基礎的・基本的な学習を通して、将来、福祉や看護、医療分野などで地域に貢献できる資質と能力を育成する。</p> <p>また、福祉に関する基礎的・基本的な学習に重点を置き、生徒の進路希望に応じて上級学校への進学にも対応できるよう教育課程を工夫する。</p> <p>以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p> |

(2) 改編の実施方法

- 平成 26 年度入学者選抜より、長浜高等学校福祉学科の募集を停止します。
- 平成 26 年度に長浜北星高等学校総合学科に入学した生徒から、福祉系列の選択が可能となります。

6 定時制課程の見直し

【長浜北星高等学校定時制課程の学科改編】

(1) 再編の概要

| | |
|----------|---|
| 再編の内容 | 長浜北星高等学校の定時制課程を学年制の商業学科から単位制の総合学科へ改編する。 |
| 再編のねらい | 普通、商業の系列で編成する総合学科へ改編することにより、転編入学や3年での卒業を容易にするなど、生徒の多様な学習ニーズに対応した教育を推進する。 |
| 対象高等学校 | 長浜北星高等学校 定時制課程 |
| 再編年度 | 平成26年度 |
| 想定する学校規模 | 長浜北星高等学校 定時制課程（夜間）1学年 1学級 |
| 学科構成 | 長浜北星高等学校 総合学科 普通・商業の系列を設置 |
| 教育活動の特色 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人ひとりが自分の興味・関心や進路希望等に基づき、主体的に科目を選択履修する。 ○ 少人数編成授業を行うなど、生徒の興味・関心や習熟の程度等にきめ細かく対応した授業を展開する。 ○ 総合学科の必修科目「産業社会と人間」において、産業社会における自己のあり方や生き方について考え、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養う。 ○ 生徒が主体的に履修科目を選択できるよう、ガイダンス機能を充実し、計画的・組織的にきめ細かな指導を行う。 ○ 0時限や5時限授業の設定、実務代替、定通併修、技能審査等の単位認定制度を活用することで、3年での卒業を可能とする。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 実務代替：一定の条件のもとに、働いている場所での実務を職業科目の一部とする制度 ※ 技能審査：簿記検定、実用英語技能検定、日本漢字能力検定など、一定の要件を満たす知識や技能の審査 <p>以上を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p> |

(2) 改編の実施方法

- 平成26年度入学者選抜より、長浜北星高等学校定時制課程商業学科の募集を停止し、総合学科の募集を開始します。

(3) その他

- 平成25年度以前に長浜北星高等学校定時制課程に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。

【彦根東高等学校定時制課程の廃止】

(1) 再編の概要

| | |
|--------|---|
| 再編の内容 | 普通科の総合単位制高等学校を湖東地域に設置することに伴い、彦根東高等学校の定時制課程（普通科）を廃止する。 |
| 対象高等学校 | 彦根東高等学校 定時制課程 |
| 再編年度 | 平成 26 年度 |

(2) 再編の実施方法

- 平成 26 年度入学者選抜より、彦根東高等学校定時制課程の募集を停止します。
- 彦根東高等学校の定時制課程は、平成 25 年度入学生が卒業する平成 29 年 3 月まで存続します。

(3) その他

- 平成 25 年度以前に彦根東高等学校定時制課程に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。

※ 改編後の学科等は仮称です。